

Maker Faire[®] Kyoto

Maker Faire Kyoto のご案内

株式会社オライリー・ジャパン

2023.12.1

Confidential

本資料には未発表・未公開の情報が含まれます。本資料の情報・掲載写真は、株式会社オライリー・ジャパンの許可なく、対外的に公開・転載することはできません。



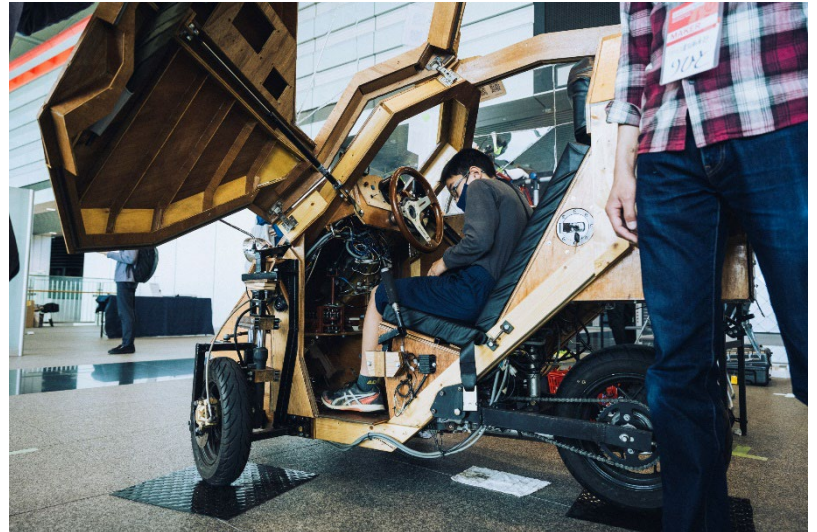
Maker Faire Kyoto 2023の様子



Maker Faire Kyoto 2023の様子



Maker Faire Kyoto 2023の様子



Maker Faire Kyoto 2023の様子

イベントのご案内



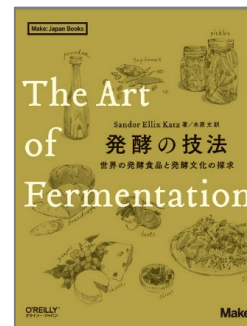
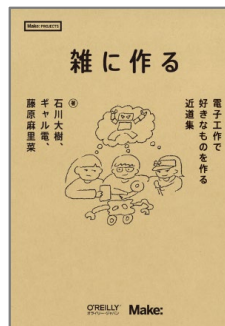
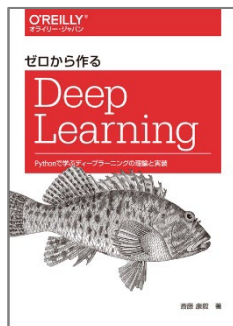
オライリー・ジャパンは、アメリカに本社を置くO'Reilly Media, Inc. の100%出資子会社として、主要なテクノロジー分野に関する技術書籍の出版活動を展開してきました。

2006年よりテクノロジーを使ったDIYを楽しむ人のための「Make: BOOKS」シリーズの出版をスタート。

2008年よりMaker Faire Tokyo（2012年にMake: Tokyo Meetingからリニューアル）、2019年よりMaker Faire Kyotoを主催しています。

会社概要

社名 : 株式会社オライリー・ジャパン
設立 : 1995年12月12日
資本金 : 35百万円
(米国O'Reilly Media, Inc. 100%出資)
所在地 : 〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町12番22号
VORT四谷坂町 1F
事業内容 : コンピュータ技術書籍（電子書籍含む）の
翻訳企画出版、Maker Faireの運営
関連会社 : O'Reilly Media, Inc.
Make Community LLC.
O'Reilly UK Ltd.
O'Reilly Beijing



Maker Faireについて

Maker Faire (メイカーフェア) は、誰でも使えるようになった新しいテクノロジー（カードサイズの教育用コンピューター、ロボティクス技術、3Dプリンター、AIなど）を中心に、さまざまな材料・素材をユニークな発想で使いこなし、皆があっと驚くようなユニークなものや、大量生産では作れない、本当に欲しいものを作り上げる「メイカー (Maker)」のお祭りです。

2006年に米国サンフランシスコではじまったメイカーたちの祭典 Maker Faire は、規模を世界中に拡大し、2019年には世界200か所で開催されるにいたります。バイエリア（サンフランシスコ）、ローマ、バルセロナ、台北、深センなどの主要都市で Maker Faireが開催されました。

全世界が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響下にあった2020年、2021年は、各地でオンラインを中心に活動が行われましたが、2022年以降は対面イベントが再開され、現在は、コロナ禍以前の活気を取り戻しています。



Maker Faire Kyoto / Tokyoについて

Maker Faire® Kyoto

Maker Faire Tokyoは、2008年から前身イベントMake: Tokyo Meetingを開催し、**2023年で19回目、累計17万人以上が来場**（2021年は、オンライン開催）。

Maker Faire Kyotoは、**2019年に関西初のMaker Faireとして開催**。2日間で、**約7,500人が来場**。2020年、2021年のオンライン開催を経て、Maker Faire Kyoto 2023は約5,800名が来場。

「Maker Faire Tokyo 2023」は、感染症対策による各会場の最大滞在者数などの制限も解除され、体験型企画も本格再開。多様なメイカー同士（ホビースト、エンジニア、Young Maker [学生メイカー]）や、来場する子どもたちとの交流も、ますます盛んになりました。



ホビースト、エンジニア、学生など、
多様なメイカーがオープンに交流



最新のテクノロジーを使った
実験的な作品に出会う



さまざまなワークショップで
モノづくりを体験することもできる

*“Maker Faire is the intersection of
science, art, and technology”*

日本国内のMaker Faireの開催状況

地域の自治体・学校・企業・作り手が参加し、物作りの楽しさを共有するとともに新しい交流、アイデア、産業を育む場となることを目的に、様々な団体の協力のもとMaker Faire／Mini Maker Faire／Micro Maker Faireを開催しています。

- 京都府精華町：2019年、2023年に「Maker Faire Kyoto」を開催。主催：オライリー・ジャパン 後援：京都府、公益財団法人 京都産業21、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、京田辺市、木津川市、精華町。2023年来場者：約5,800人、出展者：130組
- 岐阜県大垣市：2010年に「Make: Ogaki Meeting」、2012年から隔年で「Ogaki Mini Maker Faire」を開催。主催：Ogaki Mini Maker Faire 実行委員会、共催：オライリー・ジャパン。2022年来場者：約3,200人、出展者：102組。
- 山口県山口市：2013年、2015年に「Yamaguchi Mini Maker Faire」を開催。主催：山口市、山口情報芸術センター [YCAM]。2015年来場者：約7,400人、出展者：106組
- 茨城県つくば市：2020年2月に「Tsukuba Mini Maker Faire」を開催。主催：TMMF実行委員会、共催：オライリー・ジャパン、つくば市。2020年来場者：約4,700人、出展者：151組
- 宮城県仙台市：2020年、2022年に「Sendai Micro Maker Faire」を開催。主催：オライリー・ジャパン、共催：FabLab SENDAI – FLAT、make道場。2022年来場者：約150人、出展者：25組（来場者の入場制限あり）。
- 静岡県浜松市：2022年に「Hamamatsu Micro Maker Faire」を開催。主催：オライリー・ジャパン、共催：FabLab Hamamatsu / TAKE-SPACE。2022年来場者：約250人、出展者：27組（来場者の入場制限あり）。
※2023年12月2日（土）にHamamatsu Micro Maker Faire 2023を開催予定（出展者：34組）
- 愛知県刈谷市：2024年3月2日（土）、3日（日）に、「Kariya Micro Maker Faire 2024」を開催予定。主催：オライリー・ジャパン、共催：D's Maker College（参考：<https://makezine.jp/blog/2018/05/dees-maker-college.html>）



2024年は、刈谷、浜松にて
Micro Maker Faire を
開催予定！

Maker Faire Kyoto / Tokyoの開催実績



◆Maker Faire Kyoto 2023

会期：2023年4月29日（土） 12:00～18:00

4月30日（日） 10:00～16:00

会場：けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

出展者数：約130組

来場者数：5,800人

スポンサー：28社（2019年：19社）

サポーター：3社



◆Maker Faire Tokyo 2023

会期：2023年10月14日（土） 12:00～18:00

10月15日（日） 10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 西4ホール

出展者数：約280組（2022年：約280組）

来場者数：13,000人（2022年：約10,000組）

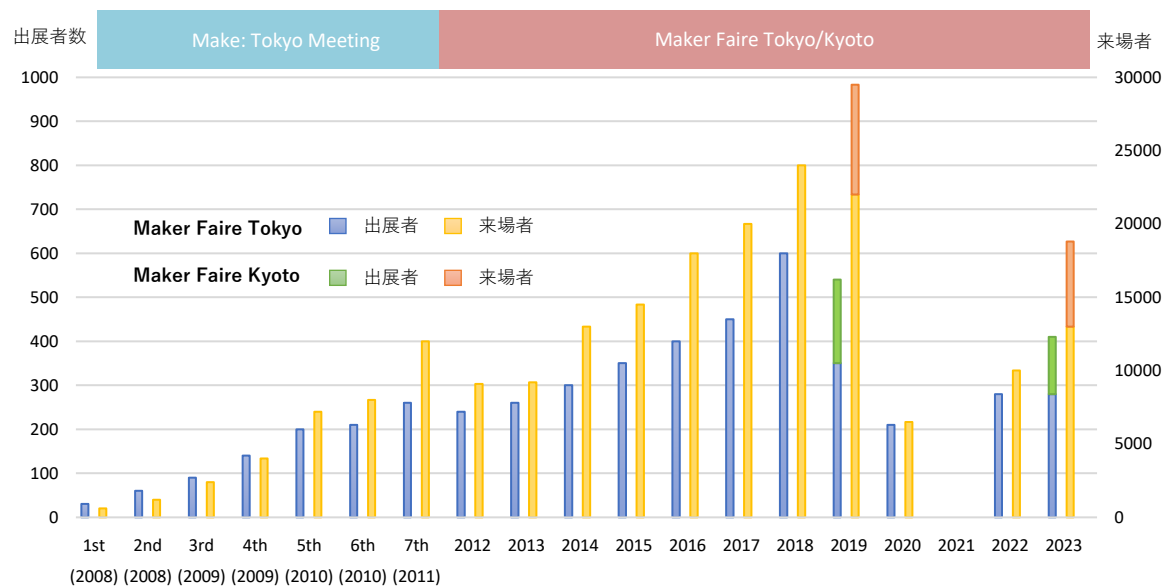
スポンサー：53社（2022年：28社）

メディア&コミュニティパートナー：3社

サポーター：2社

プレス来場者：約42媒体・56名（2日間計）

年度別参加者数推移（Maker Faire Tokyo/Kyoto）



新聞

- 京都新聞 4月30日 「ものづくり技術 披露 メイカーフェア ARやロボ130組」
- 読賣新聞 4月30日 「科学技術の粋極めた作品並ぶ」



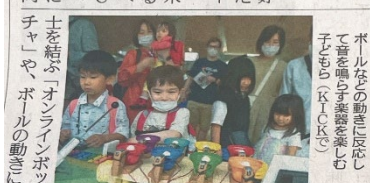
ものづくり技術披露
メイカーフェア ARやロボ130組
けいはんな

ものづくりの技術者や、エンジニア、技術者から
や愛好者が作品発表、ロボットなどさまざまな
技術を披露した。自作ロボットを展示
した同社大チームの大神
慧至さん(20)は「科学技術
について様々な人に興味を
持ってほしい」と話した。
30日は午前10時〜午後4
時で、入場料は大人100
0円、18歳以下500円。

ものづくりの技術者や、エンジニア、技術者から
や愛好者が作品発表、ロボットなどさまざまな
技術を披露した。自作ロボットを展示
した同社大チームの大神
慧至さん(20)は「科学技術
について様々な人に興味を
持ってほしい」と話した。
30日は午前10時〜午後4
時で、入場料は大人100
0円、18歳以下500円。

京都新聞 4月30日

**科学技術の粋
極めた作品並ぶ**
KICKきょうきく
技術者やものづくり愛好
家らが技術の粋を凝らした
作品を持ち寄る「メイカー
フェアキョウトウ2023」
(府など後援)が29日、木
津川市と精華町にまたがる
けいはんなオープンイノ
ベーションセンター(KICK
K)で始まった。30日まで。
技術者らの交流を目的に
開催。遠隔のプレイヤー同
士を結ぶ「オンラインポ
ット」や、ボールの動きに



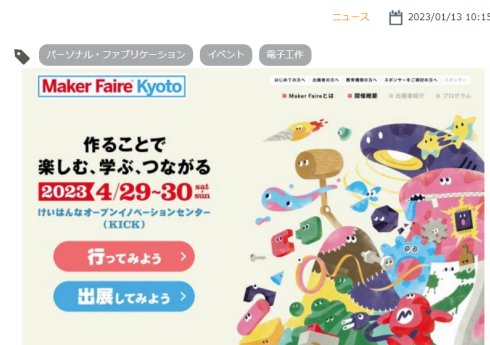
ボールの動きに反応し
て音を鳴らす装置を展示
子どもら(KICK)
反応して鳴るハンドベルな
ど、約130組の作品が並
んだ。自作ロボットを展示
した同社大チームの大神
慧至さん(20)は「科学技術
について様々な人に興味を
持ってほしい」と話した。
30日は午前10時〜午後4
時で、入場料は大人100
0円、18歳以下500円。

読賣新聞 4月30日

ウェブサイト/YouTube

- fabcross 1月13日 「[実質4年ぶりの実地開催、「Maker Faire Kyoto 2023」が出展者募集を開始](#)」
- ICT教育ニュース 1月16日
[「オンライン・ジャパン「Maker Faire Kyoto 2023」4月に開催 出展者・スポンサー募集](#)」
- ICT教育ニュース 4月6日 「[オンライン・ジャパン「Maker Faire Kyoto 2023」4月29・30日開催](#)」

実質4年ぶりの実地開催、「Maker Faire Kyoto 2023」が出展者募集を開始



オンライン・ジャパンは2023年1月12日、Makersイベントの「Maker Faire Kyoto 2023」の出展者募集を開始した。締切は同年2月6日13時だ。

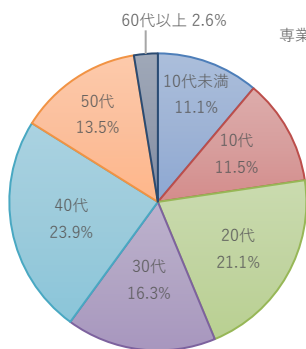
Maker Faire Kyoto 2023の会期は2023年4月29〜30日で、実質4年ぶりの実地開催となる予定だ。会場は前回開催された「Maker Faire Kyoto 2019」と同様で、けいはんなオープンイノベーションセンター(京都府精華町)を予定している。従来より規模を縮小しての開催となる見込みで、今回は「関西地域のメイカーの交流機会を継続可能な形で続けていくための再スタート」としているという。

出展区分は「Maker」「Education」「Company」の3つだ。今回から、Maker Faire Tokyo 2022と同様の出展料規定が導入され、MakerとCompanyはスペースに応じた出展料、レンタル備品や電気を使用する場合、それぞれ費用を支払う必要がある。Education区分での出展の場合、出展料は不要だ。

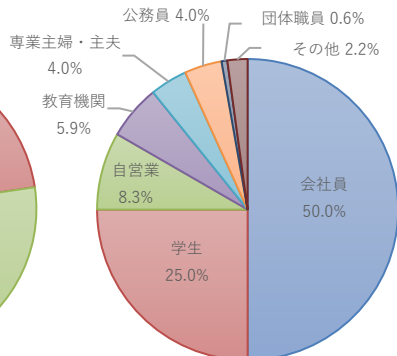
ATTENDEE : 来場者属性 (1)

Maker Faire Kyoto 2023 出展者アンケート (Webフォームからの回答) および出展・協賛申込情報より/割合は未回答者を除く

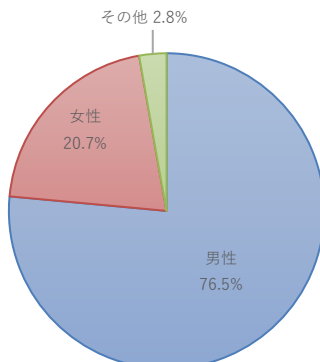
01.年齢層 (n=503)



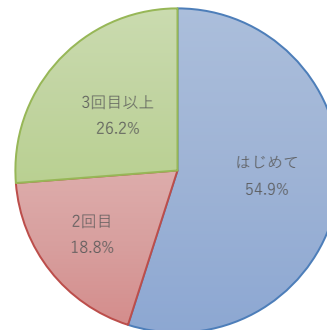
02.職業 (n=324)



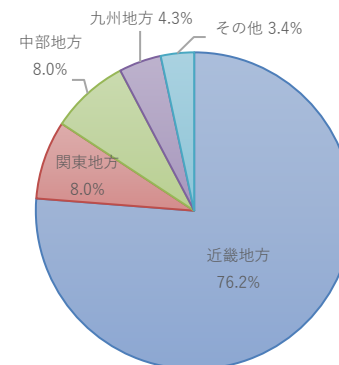
03.性別 (n=324)



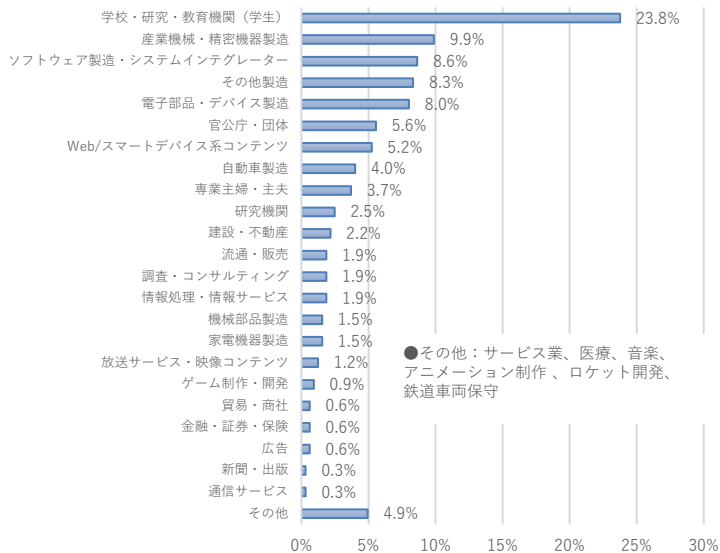
04.Makeイベントへの参加回数 (n=324)



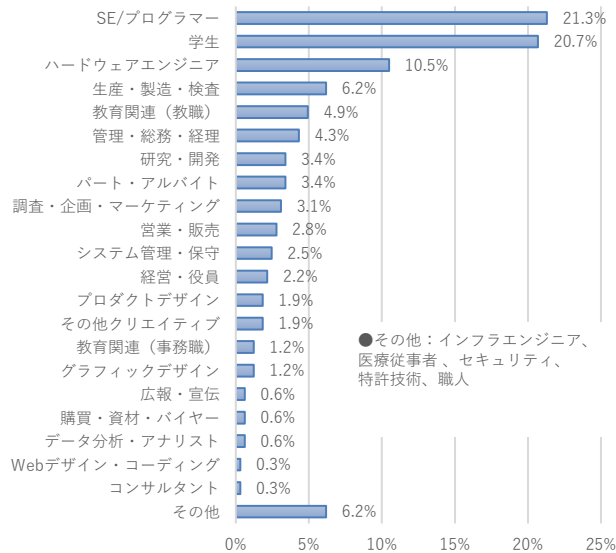
05.居住地域 (n=324)



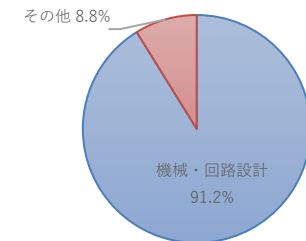
06.業種 (n=324)



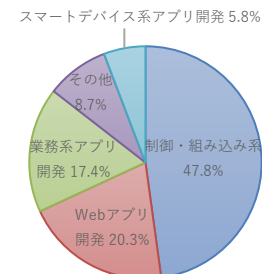
07.職種 (n=324)



ハードウェアエンジニアの属性 (n=34)



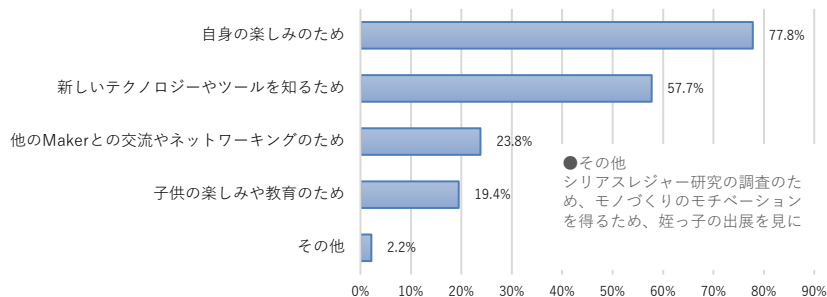
SE/プログラマーの属性 (n=69)



ATTENDEE : 来場者属性 (2)

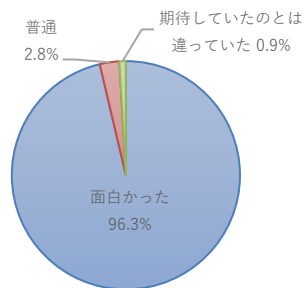
Maker Faire Kyoto 2023 出展者アンケート (Webフォームからの回答) および出展・協賛申込情報より/割合は未回答者を除く

08. Maker Faire Kyotoへの参加目的 (n= 324、複数回答)

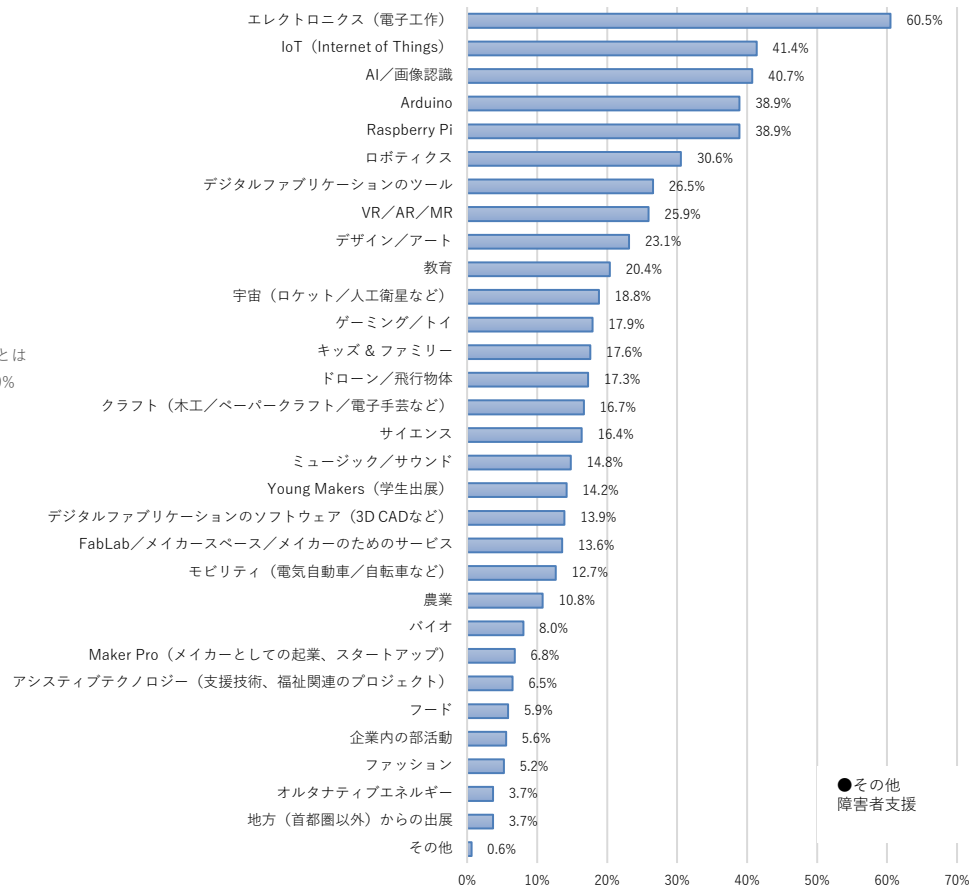


10. 感想

- 学生団体が出展していたのが、非常に興味深かった。
- KICKという産学協業拠点で開いたのは良いと感じました。
- ロボットおみくじが、面白かったです。
- またやって欲しいです。
- キムワイプのロボットが可愛かったです。
- 島津製作所のデモ、NTのブースが技術や歴史が学べてよかった。
- Japan's Maker spirit is really an eye opener. It's a place I feel connected as a Maker, despite the language barrier.
- 3Dプリンターで作った小物が可愛かった。
- 小さい子供が多い印象だったが、中学生が来て楽しめるイベントになればいいなと思った。
- 家族で来ました。娘が中学にあがり進路の話もある中で、学校系のブースがあったのはとても良かったです。
- クナイのデバイスを作られている方の熱意が伝わってきました。



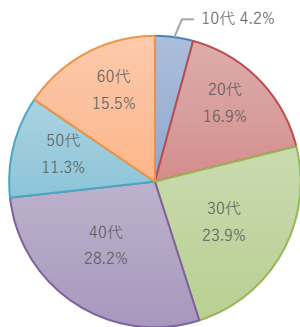
09. 現在興味があるもの (n=324、複数回答)



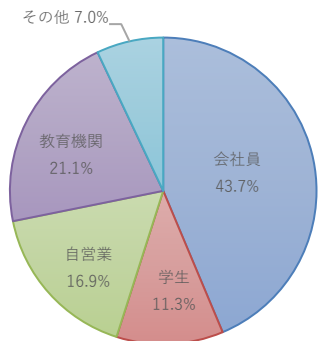
MAKER：出展者属性（1）

Maker Faire Kyoto 2023 出展者アンケート（Webフォームからの回答）および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

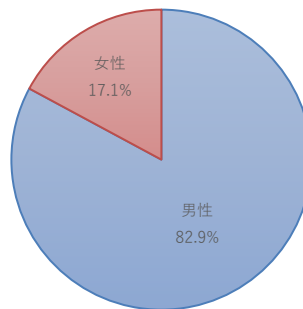
■01.年齢層 (n=71)



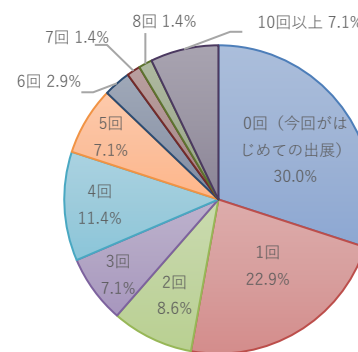
■02.職業 (n=71)



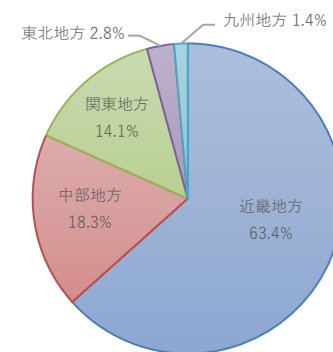
■03.性別 (n=71)



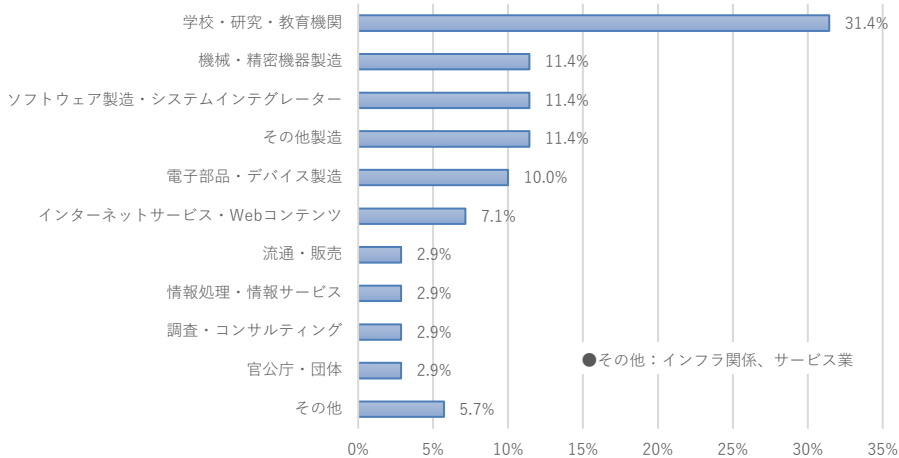
■04.過去の出展回数 (n=71)



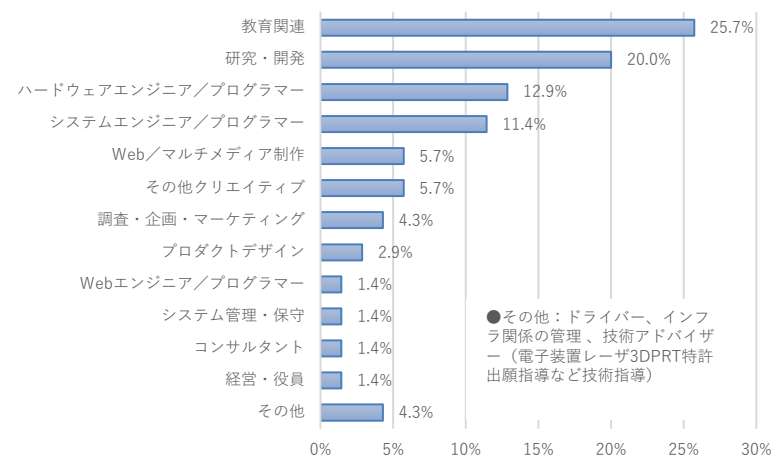
■05.地域 (n=71)



■06.業種 (n=71)



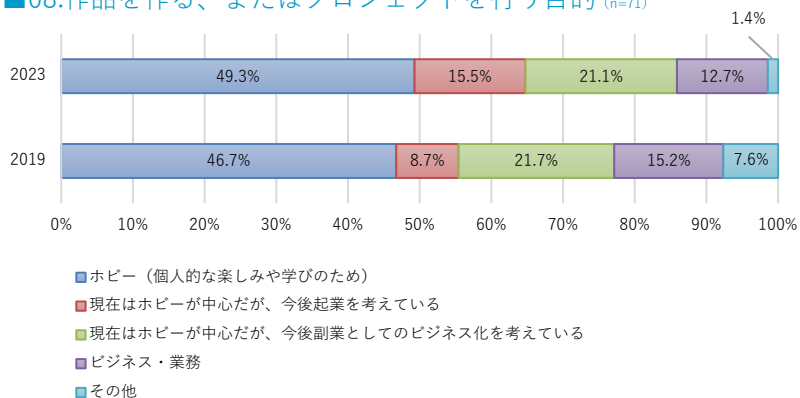
■07.職種 (n=71)



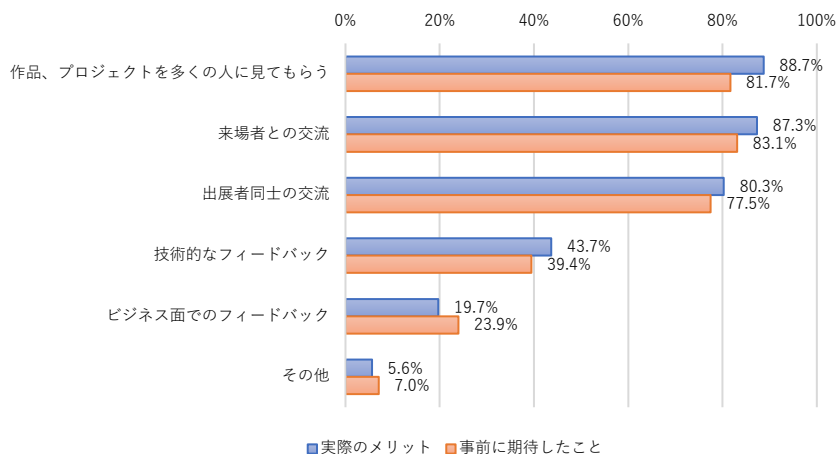
MAKER：出展者属性（2）

Maker Faire Kyoto 2023 出展者アンケート（Webフォームからの回答）および出展・協賛申込情報より／割合は未回答者を除く

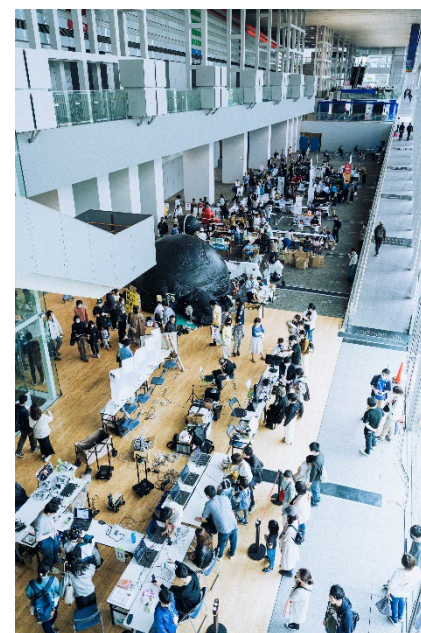
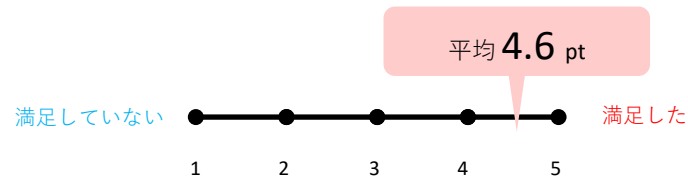
08. 作品を作る、またはプロジェクトを行う目的 (n=71)



09. 出展して得られたメリット (n=71、複数回答)



10. スポンサー：今回の出展の満足度 (5段階評価)



Maker Faire Kyoto 2024 概要

Confidential

Maker Faire® Kyoto

名称： Maker Faire Kyoto 2024（略称：MFK2024）

会期： 2024年4月27日（土）12:00～18:00、4月28日（日）10:00～16:00（予定）

搬入日… 4月26日（金）午後、4月27日（土）午前

会場： けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）

主催： 株式会社オライリー・ジャパン

後援（予定）： 京都府、公益財団法人 京都産業21、公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構、
京田辺市、木津川市、精華町

来場者： 物作りや新しいテクノロジーに関心を持つ幅広い年代の方。STEAM・教育に関心のある
家族連れ、IT・製造業のエンジニア職、工学・情報・デザイン系学生など

想定参加人数（2日間計）： 来場者数 7,500人／出展者数：120組

協賛： **Make**の精神を理解し、支援したいと考えるメイカームーブメントと親和性のある企業

入場料： <前売> 大人 1,000円、18歳以下 300円

<当日> 大人 1,300円、18歳以下 500円

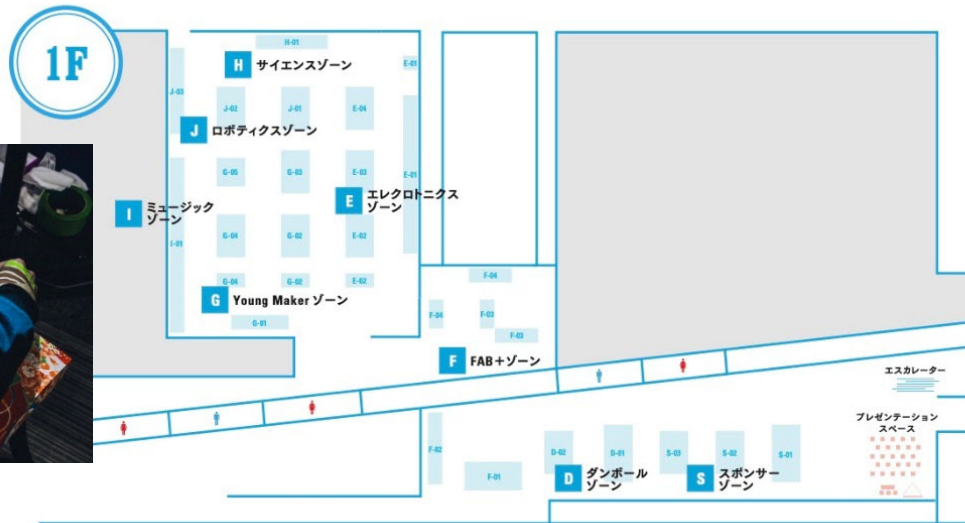
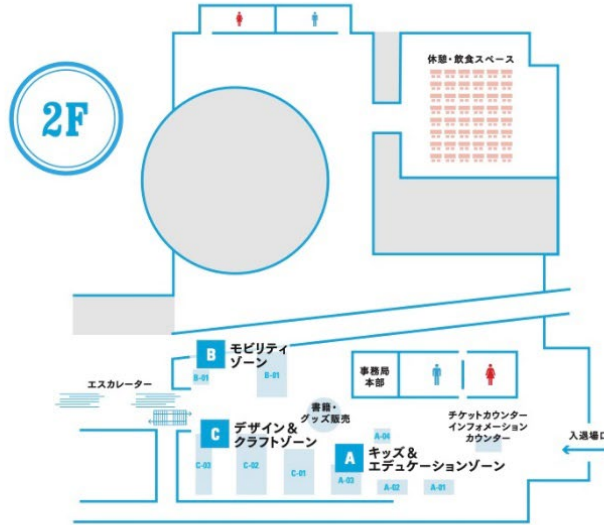
*未就学児、障がい者手帳所持者は本人及び付き添いの方お一人まで無料

ウェブサイト： <https://makezine.jp/event/mfk2024> ※2024年1月公開予定

会場「KICK」について

Confidential

Maker Faire® Kyoto



- モノを作ることを楽しみ、自ら学んだ知識を共有し、つながることで
ポジティブな変化を生み出す「メイカー」の裾野を京都・関西でさらに広げます
エレクトロニクス（電子工作）、ロボティクス、モビリティ、デジタルファブリケーションなど、
多様なジャンルのメイカーが出展、交流することで新しいプロジェクトが生まれているMaker Faireで、
さらに出展者、来場者の多様化（ジェンダー、属性、ジャンルなど）を図る企画、広報を強化します。
- 京都・関西のYoung Maker（学生メイカー）の支援をさらに強化します
Maker Faire Kyoto 2023で初めて設けた「Young Makerゾーン」を2024年も継続。
さらに運営関係者などが、それぞれの視点から注目した作品にリボンとプレゼント（予定）を贈呈し、
アイデア、作り込み、技術力、プレゼンテーション（展示の見せ方）に秀でたYoung Makerの熱意を
称えます。
- 次世代のメイカー（子どもたち）を刺激する体験型企画を更に充実させます
出展者、スポンサー、コミュニティの方の協力をいただき、「Maker Faire Kyoto 2023」以上の
Maker Faireならではの体験型企画を用意します。

協賛のご案内

Maker Faire Kyoto/Tokyo は「メイカー」が参加する、国内において最大級のイベントです。イベント運営およびメイカーの出展は、多くの協賛社のご支援によって実現しております。

本イベントへの協賛を通じ、メイカームーブメントやメイカーの皆様に対する支援を賜るとともに、日本全国、海外から集まる出展者や、物を作ること・最新のテクノロジーに関心を持つ来場者が一堂に会する機会を活用いただければ幸いです。

1. メイカーコミュニティに対し、貴社及び貴社商品を認知させることができます

展示だけでなく、プレゼンテーション、ワークショップなど製品や技術をアピールする機会をご用意しています。コアユーザーと直接コミュニケーションをとることができるMaker Faireでは、プロトタイプや新サービスを実演し、意見、反響を探る作り手・企業も多く見られます。また、近年はこれから物作りを始めたいエン트리ユーザーの来場も増加、新規層向けの製品を訴求することも可能です。

2. 新しいパートナーシップ／プロジェクトの可能性が広がります

Maker Faire で出会い、新しいプロジェクトや交流が始まるなど、メイカーや出展企業間のコラボレーションが生まれる場もあります。

3. 「メイカーを支援する」という姿勢を国内外に広く訴求、ブランドイメージの向上につなげます

個人のユニークな展示に加え、近年は企業のメイカー向け製品発表も行われ、国内各種メディアから高い注目を集めています。また、米国Make:を始め、海外ネットワークや国外のメイカーコミュニティからの視察、取材も増えています。



協賛実績

過去のご協賛企業（一部・順不同）



■ユーザーコミュニティや社内メイカーの作品紹介



KDDI：au未来研究所と鹿島アントラーズFCのコラボハッカソンでの成果物の展示



タカハ機工：ソレノイドコンテストの入賞作品や社員制作の応用作品の展示

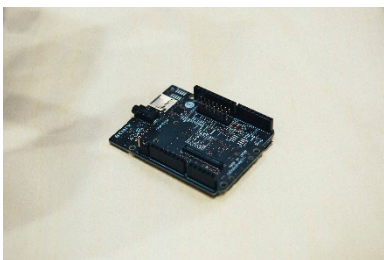


インターネットイニシアティブ：農業IoT展示と、社内公募によるオリジナルIoT作品の展示



Japan Taxi：自社オリジナルコンテンツと実車両を使ったプロダクト体験

■新製品の先行販売、テストマーケティング…事務局と同時リリース配信の連携も



ソニーセミコンダクタソリューションズ：マイコンボード「SPRESENSE」を先行販売



セメダイン：「フレキシブル導電性接着剤」を限定販売、テストマーケティングに活用



toioプロジェクト：製品化前のプロトタイプデモを行い、フィードバックを収集



アフレル：発売前のプログラミング教材「SPIKE™ プライム」のデモ体験実施

“自由な発想を持つお子さんが多く参加されているのが印象的でした。
普段クラフト系のワークショップなどを行うのですが、
親御さんの意見が強くお子さんが自由にできていないシーンを目にします。
それが無い方々が参加されているのだなという印象でした。”

Maker Faire Tokyo 出展者のアンケートより

“Make文化を起点に人の交流が発生したり、仕事に繋がったり（中略）上層部の方に見ていただいたりと想定外の良いことが起こりました。また、メンバーも終了2日後に
何かインスピレーションを得て仕事に繋がる話をくれました。
想定していた以上の効果がでて、もっともっと何かやってみてみたい気持ちが膨らみました。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

■プレゼンテーション／ワークショップ／ハンズオン



オートデスク：米国本社CEO（当時）が来日、海外のメイカーを取り巻く環境について紹介



littleBits（コルグ）：「littleBitsでドroidサッカー対決をしよう！」小学生向けワークショップ

■学生メイカー支援



Maker Faire Tokyo 2022では、コンテスト企画「Young Maker Challenge」を実施しました。Maker Faire Kyotoではコンテスト企画の実施はありませんが、学生メイカーを支援する「Young Maker Supporter」枠をご用意させていただきます。（詳細はP.28 参照）



■実験的な取り組みの成果発表、コラボレーション



任天堂：Nintendo Labo体験とMFT出展者のオリジナルラボ作品の展示



タイカ×DMM.make AKIBA：タイカのαGELを使ってDMMで開催したイベントのプロダクト展示

■機材協力・出展者サポート



白光：出展者のための「はんだ修理PIT」へ機材協力。社員の方による技術アドバイスも



セメダイン・デジタルハイク：デザインワークショップ「Nerdy Derby」への資材提供

“若い世代、これからの世代、好奇心旺盛な世代、
今までないものを生み出したいと企んでいるすべての人たちに
弊社製品の存在を知らせたいと思いました。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「協賛の目的」より

“来場者の皆様にとっても興味を持っていただき、
有意義なコメントを沢山頂戴いたしました。
なかなか会えない海外のVIPやパートナーさんとも気軽に話しができ、
コラボのきっかけをいただきました。”

Maker Faire Tokyo スポンサーアンケート「出展の感想」より

出展協賛プラン

Confidential

Maker Faire® Kyoto

※内容は、変更となる可能性がございます。 ※価格はすべて税別

プラン	PRESENTING SPONSOR	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	COPPERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR (※1)	(ご参考) Company (企業出展)
協賛料	要問合せ	要問合せ	要問合せ	要問合せ	要問合せ	要問合せ	8万円～
ロゴ掲示 (プログラムガイド・ウェブ・会場サイン)	特大	大	中	中	小	小	なし
展示スペース (mm)	8,400×8,400相当	8,400×4,200	4,200×4,200	4,200×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100	2,100×2,100 4,200×2,100
プランに含まれる備品	なし (備品レンタル可)				長机1本・椅子2脚 (追加レンタル可)		なし (レンタル可)
プレゼンテーション・ワークショップ (※2)	オプション 5万円						申込可 出展者枠で選出
スポンサータグの提供 (※3)	40枚	30枚	20枚	10枚	10枚	8枚	2枚 出展者タグ
招待券の提供 (※4)	50枚	40枚	30枚	20枚	10枚	8枚	なし
電源	事務局によるコンセント設置						
電気工事費・使用料 (※5)	電気使用の場合は、幹線工事費 + 電気使用料 + コンセント追加費 がかかります (費用は※5参照)						出展者向けの 料金設定あり
インターネットの使用	なし ※無線LAN機器のレンタルなどを各自ご手配ください。						なし

※1: 社数限定でSTARTUP SPONSORを募集します。 [該当条件] 業務内容やプロダクトがMaker Faireの趣旨に沿った企業であること / 創業5年以内の企業であること (イベント開催時) / 従業員数が10名以下であること / 資本金3,000万円未満であること / 年商1億円以下であること。 / 申込後に審査がございます。

※2: [協賛申込時に申し込み] プレゼンテーション・ワークショップの枠には限りがあり、先着順の受付となります。実施詳細・規定は「協賛募集要項」をご覧ください。

※3: 搬入出・会期中会場への入場にはタグが必要です。追加スポンサータグ: 1枚1,000円

※4: 一般来場者としてご入場いただける招待券です。1枚につき1日限り2名様に
ご入場いただけます (2名が同時に入場する場合に限り)。 追加招待券セット: 10枚7,000円。
追加のタグ・招待券は「出展内容申請」時にお申し込みいただけます。

※5: 会期後に請求をさせていただきます。幹線工事費 (6,000円) + 電気使用料 (申込1kwごと8,000円) + コンセント追加費 (1ヶ所2口ごと100V: 2,800円、200V: 15,000円 ※1.5kwごとに1ヶ所追加が必要)
※各島ごとに1~2個の分電盤が設置されます。
※2023年より、幹線工事費が変更になりました。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

■費用が別途かかるもの

備品レンタル (テーブル1台 3,200円、椅子1脚 640円 ほか) / 追加タグ・招待券 / オプションメニュー

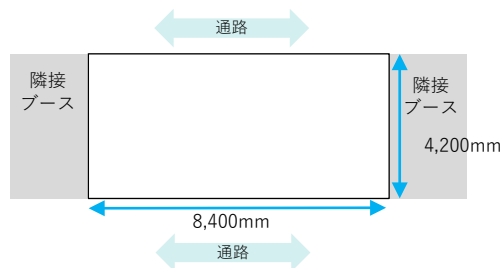
展示を必要としない協賛プランについては、P.28 をご確認ください。

Presenting Sponsor

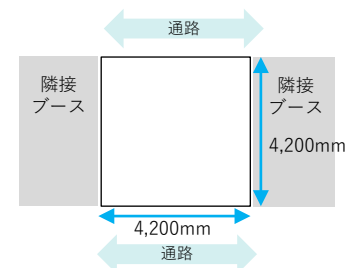
8,400mm × 8,400mm相当

スペースレイアウトは事務局と相談のうえ決定

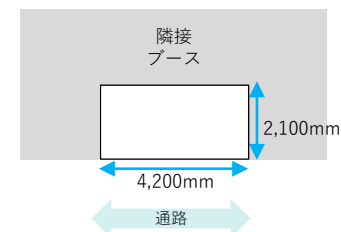
Platinumsmith Sponsor



Goldsmith Sponsor

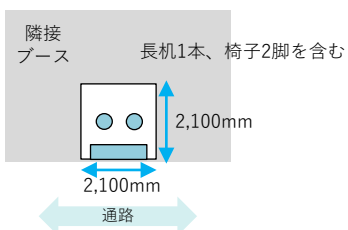


Silversmith Sponsor



Coppersmith Sponsor

Startup Sponsor



■他出展者との隣接・共同展示のご要望

- スポンサー同士の隣接は、各々申請いただければ調整可能です（先着順）。スポンサー出展エリア内で、他のMaker（企業、団体、個人）との隣接はできません。スポンサー展示スペース内で他の企業、団体、個人が共同展示を行う場合は申し込み時に必ず明示ください。
- ポリシー詳細は「協賛申込要項」を参照ください。

■展示スペースの注意点

- 装飾や出展にあたっての規定は「協賛募集要項」および「スポンサーマニュアル」をご確認ください。
- 通路に接している面はスペースの配置により増える場合があります。
- スペース内での展示となります。通路での誘導、アンケートなどをご遠慮ください。

展示スペース（プラン別出展例）

Maker Faireは、スポンサー・出展者合わせた会場の一体感が特徴となっています。ご出展の際には、下記写真をブースづくりの参考にしてください。

Platinumsmith Sponsor



Goldsmith Sponsor



Silversmith Sponsor



Coppersmith Sponsor / Startup Sponsor



ご要望に応じて活用いただける、各種オプションメニューをご用意しています。（申込対象は出展協賛社のみ、価格はすべて税別）

■プレゼンテーション

5万円

時間：20分

参加定員：40名程度（予定）

※オンライン配信はありません。

※簡易PAでの運用になります。



■事務局とのコラボレーションハンズオン

ご提案内容を検討させていただいた上で、費用・スペースを決定

来場する家族連れ向けに、物作り体験企画の実施を歓迎いたします。

【事務局】コラボレーションハンズオン用のスペースをご提供いたします。

【企業様】ハンズオンの運営

※受付等にスタッフが必要な場合には、ご紹介が可能です（要見積）



■プログラムガイド広告 ※要見積

・会場で配布するプログラムガイド内の広告スペースを提供いたします。

■配布物（印刷物／グッズ）※1点4万円

・来場者が自由に持ち帰ることができる配布物を、エントランスに設置。

・印刷物は16P・サイズA4まで、部数は5,000部まで。

・グッズの場合はサイズ・配布数要相談。

■企業内Maker Faireの実施（SILVERSMITH SPONSOR 以上）

・企業内Maker Faireの開催をサポートいたします。

ご興味のある企業様は、お問い合わせ (sponsors@makejapan.org) ください。

■出展内容紹介ページのカスタマイズ ※要見積

・出展内容紹介ページ内で追加の展開をご検討の場合は、ご相談ください。

展示を必要としない協賛プラン

Confidential

Maker Faire® Kyoto

※内容は、変更となる可能性がございます。 ※価格はすべて税別

プラン	ティンズミス TINSMITH SPONSOR	YOUNG MAKER SUPPORTER	PLATINUM/GOLD/ SILVERSMITH SPONSOR
プラン内容	様々な理由から展示は難しいもののMaker Faireをサポートしたいというご要望から2023年より新設させていただいたプランです。 ※詳細は、次頁参照	学生メイカー（学生は出展無料）、学生メイカー出展エリアの運用に掛かる費用などをサポートいただくプランです。	出展協賛プランと同様のロゴ掲示（プログラムガイド・ウェブ・会場サイン）や企業ページをご用意するプランです。
協賛料	3万円／1口 （※1）	5万円／1口	各出展協賛プラン（※2）×1/2
ロゴ掲示	あり （ウェブ・会場サイン）	あり （ウェブ・会場サイン）	各出展協賛プラン（※2）と同様
スポンサータグの提供	3枚～	3枚～	各出展協賛プラン（※2）×1/2
招待券の提供	10枚～	2枚～	各出展協賛プラン（※2）×1/2

機材・材料 スポンサー	インフラ／設備 スポンサー
メイカーの方々に使用いただきたい機材、材料、サービスなどをご提供いただくプランです。	エアコン／会場ネットワーク／電気（発電）／チャージャーブース／来場者休憩スペース設備／ドリンクなどのサポートをいただくプランです。
要見積	要見積
あり （ウェブ・会場サイン）	あり （ウェブ・会場サイン）
要相談	要相談
要相談	要相談

※1：複数口でお申し込みいただいた場合でも、ロゴの掲示位置、サイズは、1口の場合と同じとなります。

※2：各出展協賛プランの内容につきましては、P.24をご参照ください。

ティンスマith TINSMITH SPONSORについて

Confidential

Maker Faire® Kyoto

これまでMaker Faire では、ブースでのご出展を必須としておりましたが、さまざまなご事情から、ブースでの展示は難しいものの、Maker Faire やメイカーを応援したいというお声をいただき、2023年より新設させていただいたプランです。出展協賛としての参加を検討している企業さまのトライアルプランとしても是非ご活用ください。

<メリット>

出展ブースを持たずに、「メイカーを支援する」という姿勢を広く訴求、ブランドイメージの向上につながります。

<協賛金額> 企業：30,000円/1口（税別）
個人、コミュニティ：15,000円/1口（税別）

<申込方法>

- ① [申込フォーム](#) へのご記入とロゴ（掲載を希望される企業・コミュニティの方のみ）のご提出
- ② 事務局よりご請求書の発行
- ③ 期日までにご入金 ※会期前のご入金をお願いします。調整が必要な場合は、ご相談ください。

<ロゴの掲載>

イベントの公式サイトや会場サインなどに、企業ロゴや企業名を掲載（希望者のみ）します。

Tinsmith ※公式サイトへの掲載イメージ



シャープ労働組合
奈良支部

Hayao Suzuki

workpiles

京都小松法律事務所

ハードウェアとか
研究所

akira_you



自作ペンプロッターを
愛でる会

@hiro_mi

今津篤志

kuralab.



<その他>

チラシ・ポスター・スポンサータグ・ご招待券を事前にお送りします。

出展スケジュール

※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

運営スケジュール

出展者準備

2023年12月～

イベント、協賛募集概要のご案内
ご協賛申込開始
申込直前リリース配信

出展計画、申込手続きの確認

- イベントに合わせたプロモーション、マーケティング計画
- スポンサープランの検討
- 事務局との共同企画（オプション）の検討、相談

2024年

1月15日(月)

出展申込開始

- 申込内容の確認、出展者との調整
- 申込企業へ出展（ご協賛）費用の請求書発行

- 募集要項に沿った出展内容、名義、掲載ロゴを確定
- 事務局との共同企画（コンテストやハンズオンなど）やリリース連携（新製品発表、プレゼンテーションなど）についての調整

2月15日(木)

協賛募集終了【締切】協賛申込書の提出／協賛申込フォーム入力／ロゴのメール送付

- ウェブへのロゴ掲載
（ロゴは申込順で配置／協賛募集終了後、2週間程度で掲載）
- ブース施工を事務局に委託する出展者との調整、見積

ブース・運営設計

- レイアウト、装飾、備品、配布物、当日の人員配置などの検討

2月下旬

出展内容調査フォーム／展示レイアウト図／危険物申請書ご提出のご案内

- 出展位置の確定（Silversmith Sponsor以上）

出展費用の入金 【締切】申込翌月末 ※調整可能 ※会期前のご入金をおねがいたします。

各種申請・レイアウト・備品等検討

- 展示レイアウト図、出展内容、持ち込み備品、必要電源の申請
- 危険物や食品の持ち込み申請
- スポンサー入場用タグや招待券の追加発注
- 事務局からレンタルする備品の申込
- 搬入方法の申請（車両搬入の場合は車両証を配布）

3月14日(木)

【締切】出展内容調査フォーム入力／展示レイアウト図／危険物申請書（該当者のみ）

出展スケジュール

※各種書類等提出スケジュールは変更になる場合がある点ご了承ください。

Maker Faire® Kyoto

運営スケジュール

出展者準備

3月末～4月初旬

申請内容のとりまとめ・所轄団体への申請

- 申請内容を確認のうえ、必要に応じて出展者と申請書やレイアウトを調整、安全対策の提案
- 全出展内容を取りまとめ、会場・消防署・保健所へ申請
- 電源工事設計発注

ウェブサイト上で出展者情報を公開 備品、搬入出情報の協力会社への申請

- レンタル備品の発注
- 搬入出について物流・誘導計画作成

マニュアル・スポンサータグ・招待券の発送 危険物・食品申請の出展者へのフィードバック

- 消防署や会場による査察対象の出展者へ通知

直前リリース・取材手配

- 全プログラムと見どころのリリース配信
- 当日の取材調整

4月26日 (金)

4月27日 (土)

4月28日 (日)

搬入・施工

Maker Faire Kyoto 2024 開催

オプションメニュー、電気・施工、備品追加、スポンサータグ、招待券費用の請求

5月中旬

来場者数速報

6月

開催報告書の配布

イベント出展についての情報発信

- ウェブサイトやメールでの出展告知、リリース配信準備
- 招待券やリーフレットの配布

自社施工の装飾造作などの発注 マニュアルを確認の上、搬入出スケジュールを計画

当日スタッフ・協力会社とのオリエンテーション

- マニュアルの共有、搬入出の方法や時間の確認
- スポンサータグの配布
- 当日の記録計画

直前リリース・取材手配

- リリースの配信
- メディア取材手配、イベントのプレス登録依頼

搬入・施工・出展準備

- 消防署・会場による査察対応（該当者のみ）
- 効果測定と振り返り
- 出展内容の紹介ツールやレポートの作成
- 事務局へのアンケート提出

会期後請求分の入金（6月末締切）

安全なイベント運営のため、消防法、Maker Faire Kyoto の出展規定・禁止事項を遵守してください。

出展内容やブース設営については、事前に事務局に申請いただき、確認をさせていただきます。

安全対策の詳細と申請方法は「協賛募集要項」「危険物申請に関するご案内」「スポンサーマニュアル」をご確認ください。

■対象

装飾・仕切り・展示台・敷物などに使用する布や木材、工事シート（例：ターポリンシート、テーブルクロス、バナー、パネル、壁、カーペット、人工芝など）

■対策

合板・ベニアの場合は、すべて浸漬加工による防災処理を施して、防災表示マークを見やすい箇所につけて下さい。旗・幕・カーテン、テーブルクロス、カーペットなどの布類は、すべて防災処理を施して、個々の布に指定の防災表示マークを見やすい箇所につけて下さい。（布類の防災加工は、クリーニング店に依頼することが可能）※防災表示マークの貼付がどうしても難しい場合は、事務局にご相談ください。

[裸火] 炎や火花を発するもの、発熱部が外部に露出するもの
（例：はんだごて、レーザー加工機など）

[危険物品] 引火性液体、アルコール類、指定可燃物、可燃性ガス、火薬など（例：ガソリン、軽油、紫外線硬化樹脂、UVインク、フラックス洗浄剤、エタノール、リチウムイオン電池など）

※手指消毒用のアルコールについて、アルコール重量濃度が60%を超えるものは消防署への危険物申請、ならびに消防査察の対象となるため、できるだけ重量濃度が60%を超えないものの持ち込みをお願いします。また、重量濃度60%を超える手指消毒液を持ち込む場合には、下記すべての要件を満たす必要があります。ご注意ください。

- ・500ml以下の容器に収納されている
 - ・容器に容量や成分などが記載されている
- ※会場での詰め替えは不可

[水素] 水素を使用した作品の展示・実演に関しては事前にご相談ください。

持ち込みは必要最小限とし、各対象の数量・容量、データシート（SDS）、ブース内での保管・使用位置、使用用途、安全対策などを提出して下さい。申請がなかった物品の持ち込みはできません。

本イベントは、個人の出展・自作品の展示が多く、会場・消防署より慎重に出展物の確認が行われます。通常の企業展示会とは申請範囲が異なる場合があります。をあらかじめご了承ください。また、開催前日もしくは初日に消防署または会場、事務局の査察が行われます。申請と展示が異なる場合は、撤去やイベント全体の中止を求められる可能性があります。

天井及び屋根（布、シートなどを貼り付けたものも含む）の設置
食品の展示、販売、提供、調理、口の中に食品を入れる実験

事務局を通じて事前の届出を行います。実施するために必要な設備や施工に実費がかかります。

お申し込み

締切：2/15（木）

- 希望者へMaker Faire Kyoto 2024の申込書類やフォームをお送りします。お申し込みには以下の手続きが必要です。
- 1. 「協賛申込書」（Excelファイル）に記入のうえ、メールで提出
- 2. 「ロゴデータ」をメールで提出（会場サインにも掲載するため、ai、eps. などベクター形式推奨）
- 3. 「スポンサー情報登録フォーム」（オンラインフォーム）より、出展内容や公開情報を提出
- 4. **Startup Sponsor**（初回）の場合は、企業概要・製品概要がわかる資料をメールで提出

協賛費用のお振り込み

- お申し込み内容についてMaker Faire ガイドラインに沿って確認を行い、協賛および出展内容を受諾した出展者に、帳票サービスシステムよりご請求書のご案内します。
- 一旦お振り込みいただきました協賛費用は、事務局がご協賛を辞退する場合を除き、理由の如何に関わらずご返金することはできませんのでご了承ください。

ウェブサイトロゴ掲載

- 請求書発行後、順次、Maker Faire Kyoto 2024 のウェブサイトにもロゴを掲載します。
- 各締切から掲載までは、およそ2週間かかります。掲載時期を遅らせるなど調整が必要な場合は、事前にご相談ください。
- 掲載ロゴは、各プランにつき1つです。

お問い合わせ先

株式会社オライリー・ジャパン Maker Faire 事務局 スポンサー担当

E-mail sponsors@makejapan.org